

イベント・体験情報 ※詳細は、ホームページをチェックしてください。

やまなし国際ミネラル&ジュエリーショー (入場無料)

昨年に引き続き「やまなし国際ミネラル&ジュエリーショー」が開催されます。世界各国の美しい鉱物、現在大ブームのパワーストーンや宝石の原石、貴重な化石類の数々など「大地の息吹」とも言える多くのアイテムが展示・販売されます。

また、前回好評だった見学ツアーも実施する予定です。

ミュージアムにおきましても今回のショーに併せて、山梨大学所蔵の鉱物を多数展示する予定です。

日時：平成27年10月23日(金)～25日(日)

10:00～18:00 ※最終日は17:00終了

場所：山梨県防災新館1階オープンスクエアほか
(山梨ジュエリーミュージアムの隣)



特別体験「山梨県産水晶をつかったペンダント」(10月23日～25日)

山梨ジュエリーミュージアムでは、「やまなし国際ミネラル&ジュエリーショー」にあわせて、今では商業的に採掘されていない貴重な山梨県産水晶をつかった特別体験プログラムを用意しています。宝石研磨士 深澤陽一氏が作った様々な形の水晶から好きなものを選んで、磨き上げ、ペンダントにする体験です(有料・数量限定)。もちろん、作ったペンダントはお持ち帰りいただけます。



ペンダント 3,200円



深澤陽一氏

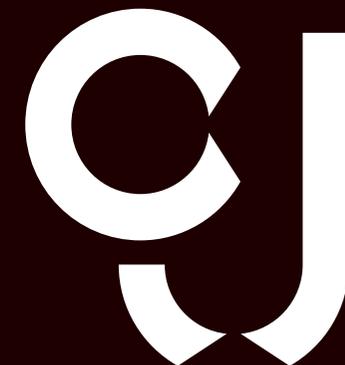
深澤陽一

昭和42年生まれ。山梨県立宝石美術専門学校卒業後、宝石研磨職人であり父である深澤博士氏に師事。山梨県ジュエリーマスター、一級宝石研磨士。山梨県立宝石美術専門学校非常勤講師。



伝統工芸士

長岡 良雄



craftsman jewelry



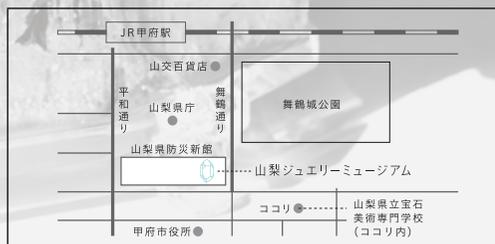
山梨ジュエリーミュージアム

開館時間：午前10時～午後6時(最終入館は、午後5時30分まで)
休館日：火曜日(祝日の場合は、その翌日)、年末年始(12/26～1/1)
：その他、臨時に開館・休館することがあります。

入館料 無料

駐車場：92台(山梨県防災新館地下有料駐車場、来館者は1時間無料)

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁内)
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/index.html>



受け継ぐ伝統の「技」

山梨県には、「甲州水晶貴石細工」と呼ばれる宝石などを使用した彫刻工芸品がある。甲州印伝、甲州手彫印章とともに山梨県を地場とする国指定の伝統的工芸品である。長岡良雄もその伝統的な技術を受け継ぐ職人の一人だ。ジュエリーミュージアムの実演工房において、黙々と作業をこなす姿は、まさに職人という感じだが、話し始めると面白い近所のおじさんに変身する。とても気さくな人だ。



甲州水晶貴石細工の技術を受け継ぐ伝統工芸士は、現在37名。各々違う得意分野があり、仏像や動物などの立体物もあれば、茶道具や香炉もある。もちろん、ジュエリーを得意とする職人もいる。このように多種多様な品が作られるなかで、長岡が得意とするものは、仏像、特に不動明王や金剛力士像など力強く躍動感溢れる作品が得意である。

@研ぎ澄ます指先の感覚

昭和24年生まれ。昔から絵を描くことや何かを作ることが好きだった長岡は、18歳の時に兄が勤めていた彫刻製作所に入社する。通常、新人は先輩職人が作った品物の最終の仕上げ磨きを1年程度行うことで徐々に仕事に慣れていくが、もともと手先が器用だった長岡は、半年程度でそれを卒業し、一から品物を作り始める。1~2年もすると、当時、輸出品として人気が高かった「唐美人」などの人物像なども作れるようになった。



24歳の時。山梨県水晶美術彫刻協同組合主催の新作展において、知事賞（トップ賞）を四天王像で受賞する。そこから作風が固まるとともに、その3年後には独立することになる。

「指先の感覚だね。見えなくても音と減り具合でだいたいわかる。」宝石を覆い隠すようにして削る甲州水晶貴石細工では、手元はほとんど見えない。研磨剤の掛け具合とコマへのあて具合などで調整を行う。

@より良い作品を作るためのデッサン

宝石の塊から削りだして立体造形を作り出すため、頭の中にしっかりしたイメージを持たないと全体のバランスが崩れてしまう。「親方たちからは必要ないって言われたけど、まずはデッサンが重要だと思っているよ。」と長岡は言う。新しい作品を作る時などは、一日中、絵を描いているそうだ。絵を描くことで、頭の中にイメージを刷り込み、一気に磨り上げていく。「絵が下手だったら、出来上がる作品も下手なものになっちゃうよ。」より良い作品を作り上げるための気概が伝わる。



「この仕事は、本人のやる気がなくちゃダメだ。もっと技術を身につけたい、良いものを作りたいという気持ちが大切。」後輩にはそのように諭す。「若者には、絵をたくさん描いて、もっともっと新しいものを作る挑戦をしてほしい。」自分の経験を後世に引き継いでいく「伝統」を感じた。



伝統工芸士 長岡良雄 (水晶美術彫刻)

昭和24年生まれ。17才の時に、二代目章玉 河野信美氏に師事。平成6年に伝統工芸士、平成9年に山梨県ジュエリーマスターに認定。

長岡良雄氏による実演及び体験指導

9月22日（火・祝）に同氏による実演及び体験指導が実施されます。実演の内容は「ねこ」の水晶彫刻です。お気軽にお立ち寄りください。



次回「宝石研磨士 山本 武」2015年10月発行予定